

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	フィールド・スタディ I B (Field Study IB)		
ナンバリングコード	E11412	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 基礎レベル 地域マネジメント
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 後期
必修・選択区分	選択: 経営経済学部 コース選択必修: 情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E048051	クラス名	地域マネジメント
担当教員名	今西 衛、本村 裕之、山城 興介、亀井 良幸、後藤 厳寛		
履修上の注意、 履修条件	履修条件: ガイダンスに出席し、初回レポートに合格した学生(すなわち、書類審査となります)。 本授業では部活動やアルバイト等と重ならないよう事前に調整をしておきましょう。プロジェクト型科目なので、3年間継続して履修することが望ましい。 地域マネジメントコース希望者は受講しておくことが望ましい。また、プロジェクト型科目であるので、3年間通じての履修が望ましい。その他を参照すること		
教科書	資料を配付します。		
参考文献及び指定図書	橋本 行史 編著「地方創生の理論と実践 -地域活性化システム論-」、創生社、2015		
関連科目	フィールド・スタディⅠA、フィールド・スタディⅡ、フィールド・スタディⅢ		

○基本情報							
授業の目的	大分県は「おんせん県」といわれるほど、温泉が各地にあり観光資源としても活用されています。しかしながら、今回のフィールドとなる豊後大野市は温泉がない市です。そのような市でも自然やジオパーク、伝統・文化、地産のものを活かした食など、観光資源化されていない多くの魅力あふれたものがあります。本授業では、実際に現地に赴き、ホンモノの体験や現地プロガイドのコーディネートを通じて、当該地域の現状や抱えている課題、地域の隠れた魅力を理解、発見するとともに、その理解に基づいて若者の感覚を活かした説得力のある意見表明を行える能力を養うことを目的とします。また、社会人・地域人としての自覚を育てていくことに繋げていくことを目的としています。少子高齢社会を見据え、持続可能なまちづくり(SDGs)、さらにまた現場を知ること、A.I.ではできない創造性や地域特有の課題解決の力を養います。						
授業の概要	現地の名所を訪問するとともに、学生自身にとっても当事者として真剣に考えることができる体験型学修を実施します。最終日には「観光をベースとしたコミュニティビジネスの可能性」をテーマに班ごとに報告を行い、ディベート形式の討論を通して成績評価を行います。 事前学習、予習、復習、レポートの採点結果をフィードバックして、さらによりよい提案に結びつけます。 参加費用として実費(1万円程度)が必要です。						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「講義形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「共同担当方式」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>「PBL(課題解決型学習)」</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「講義形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」
(1) 授業の形式	「講義形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」						
(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」						
地域志向科目	カテゴリーⅡ：地域での体験交流活動を教育内容に含む科目						
実務経験のある教員による授業科目	該当しない						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100%)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー①】	地域関係者と協働で地域課題や地域の魅力を発掘することができる		5%	5%
【ディプロマ・ポリシー②】	地域関係者と積極的にコミュニケーションを図り、課題解決を論理的に説明できる		25%	25%
【ディプロマ・ポリシー③】	地域課題を解決する新規プロジェクトを立案できる		20%	20%

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPに準じています。

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)

取り組みの内容により総合的に評価します。達成水準の目安は以下の通りです。

[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。

[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。

[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。

[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

履修上の注意(その他)
地域の現状や課題に対し、理解を深めること。
報告及びディスカッションを行うので、積極的に自分の意見を表明すること。

履修制限についてはガイダンスの説明を聞くこと。
感染状況等を踏まえ、授業内容の変更、あるいは、不開講となることがあります。詳しくはガイダンスの説明を聞くこと。

初回レポートの評価基準

- ・地域活動への積極性がみられること
- ・地域関係者へ迷惑をかけないこと
- ・可能ならば、3年間継続してプロジェクトに参加する意思が明確であること

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	フィールド・スタディ I B (Field Study IB)	授業コード	E048051
		担当教員	今西 衛、本村 裕之、山城 興介、亀井 良幸、後藤 厳寛		
学修内容					
1. オリエンテーション					
オリエンテーション					
予習	事前に豊後大野市の現状において調べておいて下さい				約2時間
復習	次回までに、オリエンテーションを踏まえ、豊後大野市の課題をどのように解決すべきかまとめて下さい				約2時間
2. 豊後大野視察計画作成					
ツアーのテーマ、訪問地、ルート、スケジュール等を学生自身で決めてもらいます。					
予習	ツアーのテーマを考えて下さい。				約2時間
復習	考えたツアーが実現可能か検討して下さい。				約2時間
3. 豊後大野視察計画作成					
ツアーのテーマ、訪問地、ルート、スケジュール等を学生自身で決めてもらいます。					
予習	視察の計画書を事前作成して下さい。				約2時間
復習	視察の計画書が実現可能か検討して下さい				約2時間
4. 豊後大野視察(前半)					
自分たちで決めたツアールートを実際に体験してもらいます。					
予習	ツアールートについて事前の情報収集を行う				約2時間
復習	ツアールートの検証を行う				約2時間
5. 豊後大野視察(後半)					
自分たちで決めたツアールートを実際に体験してもらいます。					
予習	ツアールートについて事前の情報収集を行う				約2時間
復習	ツアールートの検証を行う				約2時間
6. 豊後大野視察振り返り					
自身が観光客だったとして満足できたか、またその理由について話し合ってもらいます。					
予習					
復習	ツアーの振り返りシートを完成させる				約4時間
7. 豊後大野市イベント参加					
豊後大野市イベント参加					
予習	豊後大野市にどのようなイベントがあるのか調べておく				約2時間
復習	振り返りシート完成させる				約2時間
8. 豊後大野視察計画作成					
第1回の振り返りに基づき、より魅力的な計画を立ててもらいます。					
予習	前回の内容を踏まえ視察の計画書を事前作成して下さい。				約2時間
復習	視察の計画書が実現可能か検討して下さい				約2時間

○授業計画		科 目 名	フィールド・スタディ I B (Field Study IB)	授業コード	E048051
		担当教員	今西 衛、本村 裕之、山城 興介、亀井 良幸、後藤 厳寛		
学修内容					
9. 第2回豊後大野視察計画作成					
第1回の振り返りに基づき、より魅力的な計画を立ててもらいます。					
予習		前回の内容を踏まえ視察の計画書を事前作成して下さい。			約2時間
復習		視察の計画書が実現可能か検討して下さい			約2時間
10. 第2回豊後大野視察(前半)					
観光客としての視点に加え、自身のふるさとという感覚も持って体験してもらいます。					
予習		ツアールートについて事前の情報収集を行う			約2時間
復習		ツアールートの検証を観光客の視点から行う			約2時間
11. 第2回豊後大野視察(後半)					
観光客としての視点に加え、自身のふるさとという感覚も持って体験してもらいます。					
予習		ツアールートについて事前の情報収集を行う			約2時間
復習		ツアールートの検証を観光客の視点から行う			約2時間
12. 第2回豊後大野視察振り返り					
第1回と比較して改善された点や不十分だった点など、忌憚なく意見を出し合ってもらいます。					
予習					
復習		振り返りシート完成させる			約4時間
13. 豊後大野事前研修					
最終報告に際して、班ごとに意見を整理し、まとめてもらいます。					
予習		報告書の作成			約2時間
復習		ディベートを踏まえて、報告書の修正			約2時間
14. 最終発表会					
発表会の準備として、ポスターやパワーポイントの作成を行ってもらいます。					
予習		事前に報告素、プレゼンを修正しておく			約4時間
復習					
15. 最終発表会					
自分たちの見出した豊後大野の魅力について、胸を張って報告してもらいます。					
予習					
復習		振り返りシート完成させる			約4時間
16.					
予習					
復習					